



ほっとにゅーす

第2号

2011年4月4日発行

後援会資料

中村ひさじ後援会 ほっとにゅーす

発行：中村ひさじ後援会

発行責任者：福田 克己

事務所：栗東市小平井2丁目23番18号 Tel・Fax 077-553-7445

がんばろう

NIPPON

防災危機管理・体制を見直し 安心・安全なまちづくりを！

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により犠牲になられた多数の方々のご冥福を念じあげますとともに、被災された皆様からのお見舞いを申し上げます。

M9.0 という今まで経験したことのない未曾有の大地震、それに伴う大津波により関東・東北地方に甚大な被害がでており、現在もお余震や福島原発の損傷など予断を許さない状況が続いております。

被災者の方々の一日も早い救済、被災地の復興を心より念じあげるとともに、私、中村昌司も何かできることはないかを考え、行動に移してまいりたいと思います。

滋賀県、栗東市は本当に住みよい安全なまちだと言われていますが、滋賀県にも断層が走っており、今回の地震は決して他人ごとではありません。これからの栗東市の防災危機管理・体制をしっかりと整備、検証し、より安心・安全なまちづくりを進めて元気な栗東をつくるよう議員活動に邁進いたします。



栗東市議会議員

中村 昌司

「九里学」県議会議員との共闘、協働



元気な滋賀・栗東をつくるため、滋賀県議会議員「九里学」議員とは、いつも一緒に活動して県と市との強いパイプ役を果たしています。

元気な栗東をつくるために

- ①新幹線新駅跡地対策、財政再建策を確かなものにし、市内中小企業を振興し若年層の就労支援に力を注ぎます。
- ②待機児童解消・学童保育の推進、少人数学級の実現や栗東西中学校生徒増対策など、教育環境整備に取り組みます。
- ③防災危機体制の整備、確立やまちのバリアフリー化に取り組み、RD産廃処分場の対策工事実施をしっかりと検証します。

議会報告

市民、働く仲間、高齢者の目線で物事を考え、市政をしっかりとチェックする「市民派議員」の中村昌司です。昨年10月の初当選以来、2回目の定例議会を迎えました。

3月定例議会の報告（概略）をさせていただきます。

予算は財政難で緊縮型に

■一般会計当初予算は 265 億円

総額は、265 億円で前年度に比べて 6 億 8,600 万円（2.5%）の減少となりました。歳入は、市税全体で 5 億 2,390 万円の減少が見込まれています。歳出は、扶助費が約 4 億 5,200 万円増加し、市たばこ税県交付金の減少など補助費等が約 2 億 9,400 万円減少しています。

■特別会計予算は 141 億円

対前年度当初比 19 億 3,600 万円増の 141 億 5,100 万円となり、増加要因は都市下水路整備 4 億 4,600 万円、出庭水源地設備整備 6 億 4,400 万円です。

■提出された議案等件数・主な内容

専決 1 件、条例 9 件、その他 3 件、予算 17 件、請願書 2 件、追加議案（予算 1 件、その他 2 件）、意見書 3 件

平成 23 年度当初予算案、4 億 4,500 万円を減額する平成 22 年度一般会計補正予算案、市の組織改編に伴う条例改正案など多くの議案が提出され、条例、予算等いずれの議案も可決されましたが、請願書 2 件、意見書 3 件については不採択となりました。

市の組織改革の条例改正案は、JRA 栗東トレセンとの連携を図るため馬事業企画室などを含む政策推進部が新設されたり、市民に直結された部署の機能向上、組織改編が行われることとなりました。また市長、副市長、教育長の給料を減額する条例改正案も可決されました。

3 月定例議会では、そのほか暫く空席となっていた副市長の選任について同意を求められ、承認のうえ新たな副市長が誕生しました。また市が大阪のたばこ業者に貸し付けていた返済問題については、返済請求の法的返還請求を起こすこととなり、この訴えの提起についての議会の議決が求められ承認されました。

個人質問しました

この3月定例議会では、中村昌司として市当局に対して多くの「個人質問」をしました。主なものは、

栗東市は近年、財政難など解決せねばならない課題を多く抱え、何となく元気がないまちに見えますが、元気を取り戻し、困難な課題に立ち向かい、地域を活性化させるためには市役所職員の存在、とりわけ若い職員の活かし方は重要だと主張しました。その観点から、庁内職員の登用、人事研修システムを活かし、特に若い職員からの市政の諸施策への提案は大いに汲み上げて生かすべきであると質問しました。また子どもの教育に関連し、学校種間の連携について質問しました。

小学校・中学校・幼稚園・小学校、場合によっては中学校・高等学校、あるいは大学等の連携について、栗東市は「縦型の連携」が行われているが、教育指導の広がりや教職員間の交流、指導力と資質の向上を図るため、「横の連携」を推し進めるよう指摘しました。

後援会より

後援会の中村いつ子です。家庭婦人ソフトボール時代、体育指導員、社会福祉協議会関係時代は皆様に大変お世話になり、本当にありがとうございました。現在は、市内の介護施設で毎日元気に働いており、主人の後援会では会計を担当させていただいております。今後ともよろしくお願いたします。

IACT !! どんな小さな事でもかまいません
皆さんのご意見が私の動力源です！

中村ひさじ後援会事務所

事務所：栗東市小平井2丁目23番18号

TEL・FAX 077-553-7445

<http://hisaji.net>

